

市議会第3回臨時会
新議長等を選出

議長 **井手大喜**議員
副議長 **広田丈夫**議員
監査委員 **新井貞夫**議員

10月29日に開催された市議会第3回臨時会で、議長に井手大喜議員、副議長に広田丈夫議員を選出。また、監査委員に新井貞夫議員が選任されました。



井手大喜議長

■井手大喜議員

そうか市民議員団 3期目 副議長などを歴任
谷塚上町465-11



広田丈夫副議長

■広田丈夫議員

公明党草加市議会議員団 2期目 総務文教委員会委員長などを歴任 高砂2-21-6-1002



新井貞夫監査委員

■新井貞夫議員

草加新政議員団 13期目 議長などを歴任
氷川町55-1

衆議院議員総選挙

小選挙区
結果

黄川田仁志氏が当選

草加市の
投票率
51.51%

問選挙管理委員会 ☎922-2490 ☎927-7693

10月31日に行われた衆議院議員総選挙。即日開票の結果、小選挙区の埼玉県第3区（草加市・越谷市）で黄川田仁志氏が当選しました。埼玉県第3区の当日有権者数は46万2607人。

■小選挙区投票結果

投票率 51.88%【草加市51.51%（前回比+3.34ポイント）】
草加市の期日前投票数 2万6917票（投票全体の25.1%）

候補者氏名 (敬称略)	得票数	
	埼玉県第3区	草加市
☎ きかわだひとし	12万5500票	5万2694票
山川ゆりこ	10万 963票	4万8172票
河合ゆうすけ	7534票	3373票

■比例代表投票結果（北関東ブロック）

自由民主党7人、立憲民主党5人、公明党3人、日本維新の会2人、日本共産党1人、国民民主党1人が議席を獲得しました。

党派名	得票数	
	北関東ブロック	草加市
自由民主党	217万2065票	3万3616票
立憲民主党	139万1148票	2万4190票
公明党	82万3930票	1万5467票
日本維新の会	61万7531票	1万 474票
日本共産党	44万4115票	8844票
国民民主党	29万8056票	4719票
れいわ新選組	23万9592票	4761票
社会民主党	9万7963票	1427票
NHKと裁判してる党 弁護士法72条違反で	8万7702票	1694票

交際費の執行状況を公開 7~9月

問庶務課 ☎922-0954 ☎922-3091

市長交際費、議長交際費など全ての交際費9種類を公開。項目は、支出年月日、支出目的、相手方（病気見舞は除く）、金額の4項目。公開は3か月ごとに行い、市ホームページと市役所情報コーナーで閲覧できます。

■交際費支出件数・金額

市長…2件・1万6000円

※議長、教育委員会、上下水道部、市立病院事業管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会の支出はありませんでした。

いずれも
健全な
状態

令和2年度決算に基づく
財政健全化判断比率・
資金不足比率を公表

問財政課 ☎922-0761 ☎922-1547

地方公共団体は、財政健全化法により「健全化判断比率」と公営企業会計の「資金不足比率」を算定し、財政の健全さを判断します。令和2年度の決算に基づき指標を算定した結果、いずれの比率も国が定めた早期健全化基準などを大幅に下回っており、市の財政は健全な状態です。将来にわたって行政サービスを確実に実施していきけるよう、持続可能で健全な財政運営を行ってまいります。

健全化判断比率

一般会計や特別会計などの決算に基づいて「収支」の赤字と「負債」の大きさという2つの視点から、財政の健全さを4つの指標に分けて示したものです。

▶比率ごとに黄色信号の「早期健全化基準」と赤信号の「財政再生基準」があります。

比率のうち、1つでも早期健全化基準以上になると、財政健全化計画を定めて財政の健全化に、さらに財政再生基準以上となると、財政再生計画を策定し、財政の再建に取り組む必要があります。

健全化判断比率	草加市の指標		早期健全化基準	財政再生基準
	令和2年度	令和元年度		
実質赤字比率	-(△8.12)	-(△7.43)	11.33	20.00
連結実質赤字比率	-(△26.30)	-(△21.08)	16.33	30.00
実質公債費比率	3.90	4.10	25.00	35.00
将来負担比率	12.60	5.40	350.00	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は赤字がないため「-（該当なし）」とし、参考に黒字の比率「△」を表記。

■財政健全化判断比率 2つの視点（収支・負債）と4つの指標

4つの指標

収支の視点

実質赤字比率

一般会計の赤字が財政規模に対してどれだけあるかを表す。
▶本市は黒字。

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字が財政規模に対してどれだけあるかを表す。
▶本市は黒字。

負債の視点

実質公債費比率

借金（地方債）などの返済額が財政規模に対してどれだけあるかを表す。
▶公共下水道事業会計の法適用化により、繰出金基準額が減少したため0.2ポイント改善。

将来負担比率

将来負担しなければならない負債（地方債残高など）が財政規模に対してどれだけあるかを表す。
▶地方債の発行の増加や庁舎建設基金の取り崩しなどにより7.2ポイント悪化。

資金不足比率

公営企業会計の資金不足がどれだけあるかを、料金収入などの事業規模と比較した指標で、各会計の経営状況を表したものです。いずれの公営企業会計も資金不足はなく、健全な経営状態です。

▶経営健全化基準である20%以上になると公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。

公営企業名	草加市の指標		経営健全化基準
	令和2年度	令和元年度	
水道事業会計	-(△117.0)	-(△115.2)	20.00
病院事業会計	-(△18.7)	-(△3.8)	
新田西部土地区画整理事業特別会計	-(△100.0)	-(△100.0)	
新田駅西口土地区画整理事業特別会計	-	-	
公共下水道事業会計	-(△10.6)	-(△5.9)	

※資金の不足が発生していないため「-（該当なし）」とし、参考に資金剰余比率「△」を表記。
※新田駅西口土地区画整理事業特別会計は、資金の不足額及び剰余額が生じていないため「-（該当なし）」と表記。

■10月の放射線量等 ○大気中放射線量(単位:マイクロシーベルト/時) 最大値0.08/最小値0.07 (市役所前)